



宮農経済トピック 臨時号

No.634-1(2020.9.3)

台風や低温、高温等により農作物・農業施設等への影響が心配される際は臨時号として発信しています。

台風10号に対する農作物の技術対策について

群馬県農政部技術支援課より、標記の件について連絡がありましたのでお知らせします。

9月1日夜、小笠原諸島近海で発生した台風10号は、3日3時現在、フィリピンの東にあって西北西へ毎時20kmで進んでいます。この台風は、4日3時には非常に強い勢力で沖ノ鳥島近海に達し、5日3時には猛烈な勢力で日本の南に進むでしょう。7日3時には、非常に強い勢力で九州の西に達する見込みです。

気象庁は台風10号が今後、特別警報級の勢力まで発達し、去年、千葉県などを襲った台風15号などよりもさらに強い風速で西日本や奄美地方に接近、または上陸する恐れがあるとして警戒を呼び掛けています。

また、先日長野県で落雷による死傷事故が発生しています。畑などの開けた場所や、避雷設備のないあずま屋、掘建て小屋、テント内、高い木の近くはかなり危険です。雷鳴が聞こえるなど雷雲が近づく様子があるときは、落雷が差し迫っていますので、速やかに安全な場所（鉄筋コンクリート建築、自動車の内部など）へ避難するなど、雷から身を守る対策をとりましょう。

詳細は別途資料をご覧ください